



学校だより

2019年10月23日
No.6
射水市立堀岡小学校
校長 佐藤 静香



さわやかな秋風が金木犀の香りを運んでくれる季節になりました。先日の学習発表会には、ご多用の中、ご家族をはじめ地域のみなさまに多数ご来校いただき、心より感謝申し上げます。心配されていたお天気にも恵まれ、子供たちは精一杯の演技をご披露することができました。一人一人が「自分の役割をしっかりと果たそう」と懸命に努めている姿は健気で、温かい気持ちになりました。この一生懸命に取り組む姿勢は、堀岡っ子の素晴らしさの一つとして、これからの成長に活かされていくものと思います。子供たちの演技や作品を笑顔で見守り、温かな拍手や励ましのお声をかけてくださった方、バザーを支えてくださったPTA役員のみなさま、たくさんの方に支えていただき、子供たちは、やり遂げた喜びと自分への自信を深めていました。ありがとうございました。

学習発表会 10月20日(日)

さかせよう 笑顔の花 届けよう 感動のステージを！

〈全校音読・合唱〉



〈1年生 おおかみと七ひきの子ヤギ〉



本番は人がいっぱい来ていてびっくりしました。劇は大きな声で間違えずに言えました。全校の歌も元気よくできました。来年も楽しみです。

〈2年生 キラキラひかる こころのうた〉



私が3年生になっても、みんなでキラキラなステージにして、見に来る人たちを今よりもっとキラキラな笑顔にしたいです。

〈3年生 ゆうすげ村の小さな旅館〉



練習は、長い台詞だったので自分の中で一番大きい声を出せなかったけど、本番は息をいっぱい吸ったから大きな声を出せてよかったです。

〈4年生 ピカピカの地球をめざして〉



家に帰ったら、お父さんとお母さんに「じょうずな演技だったよ」とほめられました。それを聞いてほっぺが赤くなるくらいうれしかったです。

〈5年生 羽ばたけ！無限大の可能性を信じ〉



一番がんばったのは一輪車です。なべなべそこぬけのときにお客さんが「おおっ！」とってくれたのでうれしかったです。

〈6年生 ほんとうの宝物は？〉



自分には、はずかしいとかいろんな弱い気持ちがあるけれど、みんなが協力してがんばっていたので、弱い気持ちに負けないでやり終えることができました。これからも、いろんな場面で弱い気持ちに負けないでがんばっていきたいです。

〈4・5・6年生 鼓笛隊〉



心に残ったことは、鼓笛隊とステージ発表と係の活動の三つです。鼓笛隊は、9月から毎日、長休みに練習しました。パプリカは、運動会にしたけど、ブラジルは初めてだったので緊張しました。でも、がんばって一回もミスせずに演奏ができて、よかったです。

堀岡ウォーク 10月3日(木)

西部地区・東部地区に引き続き、今年度は中部地区で堀岡ウォークを行いました。風が強く、ときどき小雨にも遭いましたが、縦割り班で「こども110番の家」を巡った後、北陸電力火力発電所の見学と、元気の森公園でのネイチャーゲームを楽しみました。

出発前に、防犯協会堀岡支部支部長の川尻様にお話をいただいたり、地域でも気軽にお声をかけてくださったりしたおかげで、子供たちは安心して活動を進め、地域のよさを再確認することができました。ありがとうございました



交通安全に気を付けて楽しく活動してくださいと、激励の言葉をいただきました。



「いつもぼくたちを見守ってください、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」



「雨が降ってきたけど、ちゃんとリーダーのいうことを聞いて、後についていくよ。」



「電気をつくる仕組みはちょっと難しいけど、わたしたちのくらしを守るためにがんばってくださっているんだな。」



「いっぱい歩いたからおなかが出たよ。お弁当、最高においしかったよ。」



ネイチャーゲームを通して、フォレストリーダーの方から、身近な自然の観察ポイントを教えていただきました。

地震・津波対応避難訓練 10月9日(水)

堀岡保育園の年長児さんや園長先生、先生方、そして地域の方7名のご参加をいただき、地震・津波対応避難訓練を行いました。子供たちは朝活動で、地震や津波等の緊急事態への備えについて学習した後、それぞれ目当てを立てて訓練に臨みました。

本当に津波が来たらこわいなと思いました。自分の命だけでなく、みんなで協力してみんなの命を大切にしたいです。

音読集会 9月24日(火)

今年度、3回目の音読集会を行いました。各学年で、詩や短い文章を群読で紹介し合っています。名文のリズムや言葉遣いの巧みさ、面白さに触れるとともに、みんなで声を揃えて表現することの楽しさを味わってもらいたいと思っています。

集会の最後には、感想を言うコーナーを設けています。声が揃っていることや、力強く迫力のあるところなど、子供たちが互いのよさをちゃんと見付けていることに、いつも感心させられます。

